木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会における意見(1月23日開催)

ページ	意見	対応
P36	「■市街地と中山間部の地域間格差の拡大」の文中【中山間部で人口減少が進めば、市街地においては都市機能や公共インフラが維持されるものの、中山間部では過疎化が進み・・・】とあるが【市街地においては都市機能や公共インフラが維持されるものの、中山間部での人口減少がすすめば過疎化が進み】とした方が意味がわかりやすいのではないか。	意見を踏まえ次のとおり修正しました。 【修正後】 市街地においては都市機能や公共インフラが維持されるものの、中山間部での過 疎化が進めば、
P51 P66	デジタルディバイド対策について、具体的な取組みは記載され ているが基本目標の説明の中に明記してはどうか。	意見を踏まえP50の「3. 市総合戦略の基本方針と体系」「5つの基本目標」の「5誰もが便利で快適に暮らせるデジタル基盤の整備」内に【一方で、デジタル技術を利用したくても利用できない方に対するデジタルディバイド対策の実施など、】の一部を追記しました。また、P60「基本目標5 誰もが便利で快適に暮らせるデジタル基盤の整備」「■基本的な方向」に【デジタル技術が利用したくても利用できない、いわゆるデジタルディバイド対策のため、スマホ教室を継続実施します。】を追記しました。
P55	「基本目標2 新しい人の流れをつくる」の項目で今後インバウンドの動きが期待できると思うが「■基本的な方向」として記載した方がいいのではないか。	「■基本的な方向」に【コロナ禍により落ち込んでいた観光需要が回復基調にあることを踏まえインバウンドを含む市外からの観光誘客に取り組みます。】を追記しました。また「■施策の方向性 ②歴史文化遺産等の地域資源を活用した観光の促進」に【観光案内の多言語化などインバウンドに向けた取組を進めます。】を追記しました。
P60	「基本目標3 結婚・出産子育ての希望をかなえる」「■施策の 方向性 ③新しい時代の流れを力にした最先端の教育の充実」 の中に「郷土教育」の記述があるが、施策の取組みにはない。	「基本目標3 結婚・出産子育ての希望をかなえる」の「■施策の方向性 ③新しい時代の流れを力にした最先端の教育の充実」を「誰一人取り残さない教育環境の充実」に改めたうえで「取組の主な内容」に「郷土教育の充実」を追記します。
P66	農業や観光でのAIの活用や教育現場でのAIの活用とそれを 教育する教師への教育などを記載してはどうか。	「基本目標5 誰もが便利で快適に暮らせるデジタル基盤の整備」「■基本的な方向」に【AI技術の活用については、各分野で持つビッグデータの分析、未来予測化に向けての調査研究を進めます。】を追記しました。